

報道機関のお問い合わせ先

川崎 華奈, +81 3 4545 2539 または Kana.Kawasaki@morningstar.com

Bailey Fox (PitchBook) pr@pitchbook.com

米国 Morningstar、Leveraged Commentary & Data の買収を完了

2022年6月1日 シカゴ・シアトル発

独立系大手投資調査会社の米国 Morningstar, Inc. (ナスダック: MORN) は、以前にお知らせしましたとおり、S&P Global からレバレッジド・ファイナンス市場のニュース、調査、データ、洞察、指数で市場をリードする Leveraged Commentary & Data (LCD) を買収することで合意していましたが、この買収が完了しましたのでお知らせいたします。

LCD は、ローンのライフサイクル全体を網羅しており、レバレッジド・ローンのデータ、ニュース、分析、指数において、業界標準となっています。このレバレッジド・ローン市場のデータプロバイダーは、プライベート・エクイティ市場と公開株式市場を幅広くカバーし、データ、調査、テクノロジーを提供する米国 Morningstar の PitchBook Platform に統合されます。この資産クラスの主要なベンチマークである「S&P/LSTA レバレッジド・ローン指数」および関連指数は、Morningstar Indexes が拡大している債券指数ビジネスの一部となります。

PitchBook の創業者兼 CEO の John Gabbert は次のように述べています。「LCD は、プライベート・クレジットやレバレッジド・ローンのデータや調査で業界標準となっています。LCD のレバレッジド・ローンに関するデータ、ニュース、分析を PitchBook に統合することで、我々は投資家にとって重要な二つのニーズに応えることが可能になります。一つ目は、流通（セカンダリー）市場のパフォーマンスやレバレッジド・バイアウト／プライベート・エクイティの取引活動だけでなく、ローン構造（ストラクチャー）、価格設定、利回り、取引高など、レバレッジド・ローン市場のあらゆる指標の透明性を高めます。二つ目は、プライベート・キャピタルとデット市場を一元化したツールをご提供します。我々のお客様により大きな価値を提供するために、LCD と連携できることを楽しみにしています」

PitchBook について

PitchBook は金融データおよびソフトウェアの会社であり、資本市場の透明性を高め、専門家の皆様が確信をもって効率的に機会を見だし実現するための支援をしています。

PitchBook は、上場・未上場企業、投資家、ファンド、投資、エグジット、主要人物など、ベンチャーキャピタル、プライベート・エクイティ、合併・買収（M&A）市場のすべてを対象とする詳細なデータを収集し、分析しています。同社のデータと分析は、PitchBook Platform、業界ニュース、詳細レポートを通じて入手できます。PitchBook は、2007 年に設立され、シアトル、サンフランシスコ、ニューヨーク、ロンドン、香港にオフィスを構え、7万人を超える世界中の専門家の皆様にサービスを提供しています。米国 Morningstar が 2016 年に PitchBook を買収し、現在 PitchBook は Morningstar の子会社として事業を展開しています。

米国 Morningstar (Morningstar, Inc.) について

米国 Morningstar は、北米、欧州、オーストラリア、およびアジアで事業を展開する独立系大手投資調査会社です。個人投資家、ファイナンシャル・アドバイザー、資産運用会社やアセットオーナー、退職プランのプロバイダーやスポンサー、および、デット（負債）やプライベート資本市場の機関投資家の皆様に、多岐にわたる商品やサービスを提供しています。資産運用商品、上場企業、プライベート資本市場、負債証券、リアルタイム配信のグローバル市場データなど、広範な分野を網羅する投資のためのデータやリサーチを提供しています。また、投資アドバイスを専門とする子会社を通じて、資産運用サービスも手掛け、2022年9月30日現在の助言・運用資産残高は、およそ 2,390 億米ドルに上ります。世界 29 カ国に事業拠点を置いています。詳細については、www.morningstar.com/company をご覧ください。米国 Morningstar のツイッターのアカウントは@MorningstarInc です。

「将来の見通しに関する記述」に関する注意事項

本プレスリリースには、米国の「1995年私的証券訴訟改革法（Private Securities Litigation Reform Act of 1995）」において使われている用語「将来の見通しに関する記述」が含まれています。これらの記述は、将来の事象または将来の業績に関する当社の現時点における予想に基づくものです。「将来の見通しに関する記述」は本質的に、程度の差はあるもの、不確実である事柄に対処するものであり、同記述には多くの場合、「計画（Project）」、「見通し（outlook）」、「ありうる（may）」、「可能性がある（could）」、「予想している（expect）」、「意図している（intend）」、「計画している（plan）」、「追及している（seek）」、「期待している（anticipate）」、「確信している

(believe)」、「推測している (estimate)」、「予測している (predict)」、「潜在的な (potential)」、「継続する (continue)」、「維持する (remain)」、「目的としている (target)」あるいは「するつもりである (will)」という文言、および将来の期間における類似表現が含まれています。(i) レバレッジド・ファイナンス市場のニュース、調査、データ、洞察、指数に対する将来の需要、(ii) LCDの統合に関連するリスクや費用、およびLCDを成功裏に統合できる米国 Morningstar の能力などのさまざまなリスクや不確実性によって、「将来の見通しに関する記述」で言明、予測、あるいは示唆されているものと実際の結果が大きく異なる可能性があります。当社の事業やオペレーションに影響を与える要因には、最新の年次報告書 (Form 10-K) を含む、米国 Morningstar が米証券取引委員会 (SEC) に提出している書類に記載されている米国 Morningstar に影響を与える、限界、リスク、不確実性が含まれますが、これらに限定されるものではありません。これらのリスクや不確実性が顕在化した場合、当社の将来の実際の結果やその他の将来の事象が、当社の予想と大きく異なる可能性があります。当社は、新たな情報あるいは将来の事象に基づいて「将来の見通しに関する記述」を更新する義務を負いません。

###

投資家の皆様は、ご質問を investors@morningstar.com 宛にお送り頂くこともできます。

©2022 Morningstar, Inc. All Rights Reserved.

MORN-C